



2025-2026 RI 会長:フランчесコ・アレツツォ 2570 地区ガバナー:坂口孝 会長:晝間和弘 幹事:後藤健

14号 3408例会 2025年10月9日(木)

<ビジター・ゲスト>

米山記念奨学委員会 推進委員会委員

羽生ロータリークラブ 新井 裕喜 様

本来、この入間 RC には、一柳統轄委員長という、非常にリーダーシップに優れた委員長がおられますので、本当であれば私など出る幕がないのですが出張で関西方面に出向かれ急遽私の方で代役を務めさせていただきます。私ども米山委員の一つの職務の中に奨学生たちの卓話を記録するというのがあり、本日はハンさんの卓話を楽しみにしてお邪魔いたしました。



米山奨学会の記念行事は皆様の寄付によって支えられております。11月22、23日の地区大会の日には、ハンさんをはじめとする学生と我々米山奨学委員会のメンバーが、玄関先に立ち、ご寄付をお願いする形になっています。その時は是非温かいご寄付を頂戴できればと思います。宜しくお願いいたします。

ロータリーファミリー マック ジャ ハン様

❀ 会長の時間 ❀

晝間和弘会長



先日、鳩山カントリークラブにて開催されました国際ロータリー第2570地区地区大会記念ゴルフコンペに参加いたしましたので、ご報告申し上げます。

当日は135名もの参加者が集い、コースを貸し切りで

の盛大な大会となりました。チャリティーも実施され、大変意義深いイベントとなりました。入間ロータリークラブからは、後藤幹事、宮崎直前会長、間野会長ノミニ、そして私の4名で参加させていただきました。当日は少し日差しが暑く感じられる天候でしたが、和気あいあいとした雰囲気の中、楽しくプレイすることができました。

優勝を目指して臨みましたが、残念ながらスコアはいつもにも増して振るわず、まだまだ精進が必要だと痛感いたしました。それでも、他クラブの皆様とも交流を深めることができ、大変有意義な一日となりました。

次に昨日、鶴ヶ島ロータリークラブ メークアップ報告をいたします。入間ロータリークラブより6名が参加いたしました。

例会は佐々木会長による点鐘で開会され、国歌斉唱、ロータリーソング斉唱と続き、お客様の紹介が行われました。

ここまでは通常の例会と同様の流れでしたが、その後、鶴ヶ島ロータリークラブでは「4つのテスト」と「ロータリーの目的」の唱和が行われました。また、会員のご夫人の誕生日をお祝いする時間が設けられており、出席者全員でバースデーソングを唄い、心温まる雰囲気の中でお祝いをいたしました。

卓話では、本庄ロータリークラブの地区社会奉仕統括金井委員長より、社会奉仕について分かりやすいご説明がありました。後半には、我が入間ロータリークラブの地区ロータリー財団統括細淵委員長も加わり、財団を通じて社会奉仕を行うための具体的なアドバイスをいただき、大変参考になる内容でした。当日の出席率は29名中24名で82%と素晴らしいと思いました。

他クラブの例会に参加することで、各クラブの特色ある運営方法を知ることができ、大変有意義な機会となりました。鶴ヶ島ロータリークラブの皆様の温かいおもてなしに感謝申し上げます。改めて地区に出向して知り合いも増えて、良かったと思いました。

機会がありましたら、地区の出向はお勧めいたします。



＜幹事報告＞

後藤健幹事

国際大会が2026年6月12日～16日に台北で開催されます。一応前に座っている4人は飛行機もホテルも取ってありますので、他に一緒に便で行こうという方はご連絡下さい。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。



今日回覧しています11/22地区大会、10/21夜間例会、12/10クリスマス例会、12/20のフードバンクについて出欠席記入よろしくお願いします。

☆☆☆講師 卓話☆☆☆ 米山奨学生 マック ジャ ハン様

今日は最初に私の出身地であるダクラクについて紹介し次に、私が通った寄宿制学校、そして自己紹介をさせていただきます。



ダクラク省は、ベトナム中部の中央高原（タイグエン）地域に位置しています。主に標高400～800メートルの高原地帯で構成されており、気候は熱帯モンスーン気候です。雨季は5月から10月まで、乾季は11月から翌年の4月までの2つの季節がはっきり分かれています。年間平均気温は約24～25℃で、涼しく過ごしやすい気候です。この気候は農業に適しており、特にコーヒー、コショウ、ゴムなどの栽培が盛んです。

ダクラクは、雄大な自然景観に恵まれ特に、ドライサップ滝、ドライヌール滝、ラック湖などの美しい滝や湖が有名です。また、象に乗る体験（エレファントライディング）や、少数民族の文化体験も楽しめ、国内外の観光客に人気の場所です。この地を語るうえで欠かせないのは、多様な少数民族が共に暮らし、豊かな伝統文化が今も息づいていることです。さらに、国内で最も多くのゾウが生息する地域としても知られ、人と動物が共存する独特な風景が広がります。



また、ダクラク省はベトナム最大のコーヒー生産地であり、全国のコーヒー供給の中心的役割を担っています。

その香り高いコーヒーとともに壮大な自然景観も訪れる人々を魅了し、国内外から多くの観光客が訪れる人気スポットとなっています。

私はノ・トラン・ロン民族寄宿高校という寄宿制の学校で学びました。この学校は1990年代初頭に国家の少数民族寄宿学校制度に基づき設立され、多くの少数民族の学生たちが学びながら共同生活を送る場所です。



寄宿制学校はいくつかの目的のもとに設立されました。第一に山間部や遠隔地、特に生活が困難な地域に暮らす少数民族の生徒たちに、学ぶ機会を提供することです。次に、地元で活躍できる人材を育成し、特に少数民族の子どもたちの教育水準を高めることを目指しています。また、山間地域と都市部との間にある教育格差を是正することも重要な目的の一つです。そして、学習や共同生活を通じて、民族文化の伝統を保存し、受け継ぎ、さらに発展させていくことも、この学校の大切な使命となっています。

寄宿学校では、生徒たちに多方面からの支援が行われています。まず学習面では、授業料が免除されており、安心して勉強に集中することができます。次に、寄宿舎での生活面では、生徒は学校の寮に入居でき、国からの食費支援もあります。また、共同生活室や図書室、運動場などの設備も整っており、快適な環境で生活することができます。さらに経済的支援として、規定に基づく毎月の奨励費や補助金の支給、制服や教科書、学用品の支援、その他の一部費用の免除なども行われています。この様に、多くのサポートにより、生徒たちは学びと生活の両方で支えられています。私はこの学校の生徒の一員として選ばれ、多くの活動に代表として参加し、一定の成果を収めることができたことを幸運に思います。私はこの学校で、様々な活動に積極的に参加しました。学校で行われた様々なイベントや活動で司会（MC）を担当しました。

学業面では、国語オリンピック優秀生徒大会で金メダル、市レベルの科学技術コンテストで最優秀賞を受賞することができました。



さらに科学技術コンテストで二等賞を受賞しました。また、学校を代表する模範的な生徒として国防ニュースに出演し学校を紹介するインタビューも受けました。

高校を卒業した後、日本での留学という夢を抱いていましたが、家庭の経済的な事情で自費での留学は難しかった為、校長先生や県の奨学会の支援をお願いしました。そのお陰で、私は2020年に朝日新聞奨学生として来日することができました。新宿日本語学校で2年間学びながら、新聞配達の仕事もしていま



した。この奨学制度のおかげで、経済的な心配がなく日本で学ぶことができました。そして、この仕事を通じて、私は多くの経験を積み、大きく成長し、より逞しくなることができました。

日本語学校を卒業した後、私は大学に進学する決意をしました。しかし、最初の1年間の学費を賄うだけの貯金が十分になかったため、いくつかの大学に合格したにもかかわらず、やむを得ず専門学校に進学することにしました。将来大学に編入する希望を心に刻みより一層貯金に励み専門学校での学びを続けました。

ここでは毎年「優秀学生賞」を受賞し、学校のウェブサイトで紹介されました。また、専門分野に関連する資格も複数取得する事ができました。

2024年には、朝日奨学金の奨学生として、全国の高校校長や各都道府県の奨学会代表などの元奨学生を迎える団体を朝日新聞本社や日本語学校に訪問しました。



専門学校を卒業した後、私は大学3年次に編入しました。ここで、幸運にもロータリー米山奨学金を受けることができました。この奨学金は、私の人生を大きく変える転機となりました。私は経済的な支援を受けるだけでなく、多くの人々と出会い、さまざまな意義ある活動に参加する機会も頂きました。



例えば、ロータリーの森の清掃奉仕活動やハニワ作り、弓道の体験など日本の文化に触れる貴重な経験を行うことができました。



これらの経験は、私に自信と積極性を与え、さらに努力しようという大きな動機となっています。



最近では、第五回ロータリー米山記念奨学生スピーチコンテストで最優秀賞を受賞できたことを、大変うれしく、また光栄に思っています。テーマは「日本と自分の国の良いところ」でしたが、私は教育を選び、「教育こそが未来への鍵である」という信念をもとにスピーチを行いました。なぜ私がこのテーマを選んだかという、先ほど紹介した通り、私は西原高原の少数民族の村で生まれ育ったからです。そこでは少数民族の家庭が多く、特に子どもたちは中学校を卒業すると進学を諦めてしまうことが少なくありませんでした。さらに、16歳前後の多くの女性は結婚して出産することを選び、学習の道を進む機会が殆どない状況にあります。

私は、幸運にも先ほど紹介した寄宿制学校で学ぶことができました。そこでは、学業だけでなく、どんな状況に生まれ育ったとしても、夢と努力さえあれば遠くまで進むことができるということを教えてもらいました。この信念は私の心に深く刻まれています。そして、故郷の若い世代を変え、学ぶ機会を提供し、彼らが自分の夢を実現できるようにするという夢を胸に、私は毎日努力と挑戦を続けています。そして今日ロータリー米山記念奨学会の奨学生として、皆さんの前に立っています。私はその小さな証の一つです。

私は、自分の努力の姿を見て、村の多くの保護者が子どもたちを学校に通わせ、学びと夢を追いかけて下さる様と考える様に変化してくれたことを知り、とても嬉しく思っています。何度も友人たちに電話で話を聞くと、「将来、大きくなったらあなたのようにになりたい」と言ってくれる子どもたちもいました。その言葉を聞いたとき、私は思わず涙があふれました。故郷を離れて5年が経ち、一度も帰れていませんが、その無邪気な言葉こそが、私にとって大きな励みとなっています。



私は、自分だけでなく、これからの世代も教育を信じ、努力を惜しまず、故郷だけでなく他の困難な地域の子どもたちにも希望と学ぶ機会を届けられるようになってほしいと願っています。教育は未来を切り開く鍵であり子どもたちに夢を実現する力と可能性を与えるものだからです。

そして、私個人の目標として、私は現在、経済学部 4 年生です。卒業後は、税理士になるという目標のもと、大学院へ進学する予定です。税理士として専門性を磨くことは、「人材」の育成と「社会」への貢献を目指す貴団体のビジョンとも重なるものだ確信しております。私は、ここ日本で得た知識とネットワークをベトナムの未来への投資に変え必ずや成果を上げるとお約束します。ご清聴、そして温かいご支援を心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

<出席報告> 津藤淳也委員長

会員数	出席数	出席率	前週修正率
41 名	29 名	76.00%	-----

事前欠席連絡 3 名

<ニコニコBOX> 新井格 S A A

✿ 新井裕喜様

初めまして羽生 RC から参りました。本日はよろしくお願い致します。

✿ 晝間和弘君, 後藤健君, 繁田光君, 新井格君, 宮崎正文君, 駒形一人君, 細田浩司君, 滝沢文夫君, 菅野茂実君, 宇野健一君, 一柳達朗君

遠路はるばる新井様ようこそ入間 RC へハンさん卓話楽しみにしています。

✿ 晝間和弘君

地区大会ゴルフお疲れさまでした。鶴ヶ島 RC メークアップ 6 名お疲れさまでした。

✿ 滝沢文夫君

昨日、鶴ヶ島 RC メークアップに行って来ました。菅野会員、車を出してありがとうございました。

✿ 後藤健君

地区大会申し訳ございません欠席します。

✿ 豊田義継君, 宮寺成人君, 馬路宏樹君

早退します。

本日¥60,000 累計¥381,000

■回覧、配布物

- ① ガバナー月信・特別号
- ② 入間ブランド認定品商品カタログ
- ③ 茶の香めーる Vol. 96
- ④ 12/20 クリスマスプレゼント参加出欠表
- ⑤ 10/16 入間南合同例会ご案内と出欠表
- ⑥ 10/16 合同ゴルフコンペ出欠表
- ⑦ 地区大会 11/22~23 ご案内と出欠表
- ⑧ 2028-2029 ガバナー候補者の宣言
- ⑨ 11/27 夜間例会出欠表
- ⑩ 12/18 クリスマス家族例会出欠表
- ⑪ 2025-2026 入間 RC 1 年間の累計表
- ⑫ 入間 RC 週報 13 号
- ⑬ 10, 11 月プログラム



発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email : iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：宇野健一

